

国内グループ会社

ゼオンポリミクス

会社紹介

【設立】

1967 年

【事業内容】

ゴムコンパウンドの製造

【近年の状況】

製造部、技術部、管理部の 3 部門に加え、タイおよび中国の関係会社と連携を図るため海外支援室を設けています。

【人員数】

2016 年 3 月末人員数:98 名(男性 84 名、女性 14 名)

2015 年度採用実績:男性 2 名



ゼオンポリミクス

会社方針(トップメッセージ)

「高品質企業を目指そう」をスローガンに、製品品質、会社品質でカーボンマスターバッチ(CMB)業界ナンバーワン企業を目指しています。

2016 年度の社長方針として、3 つの重点課題を挙げ、従業員全員で取り組んでいます。

1. 設備保全と生産技術の強化により、操業員の力量向上を支援し、安定・安全な生産を確立する。
2. カーボンマスター(CM)生産技術の改革・改善に取り組み、生産性向上による原価低減と環境負荷低減を達成する。
3. CM 技術基地を目指し、世界に通用するリーダーの育成とグループ企業への支援強化を行う。

安全への取り組み

【方針】

無事故・無災害と労働環境整備

【具体的な取り組み】

- ・粉塵対策活動
 - ・ヒヤリハット活動
 - ・毎回テーマを決めた「現場パトロール」
 - ・現場の「あかる化」(オペレーションの明解化)活動
- ⇒3 年間無災害記録を達成し、現在も継続中です。

環境負荷削減への取り組み

【方針】

環境負荷低減、CM リスク低減の達成

【具体的な取り組み】

1. 産業廃棄物のゼロエミッション 100%継続

廃棄物の減量化に向け、工程内ロス削減、梱包材料などの再資源化の取り組みを行っています。発生した廃棄物は再利用や他への有効活用を積極的に進めていきます。

2. CO₂ 排出量の削減

温室効果ガスの排出量削減の取り組みとして、省エネ型機器や LED 照明の採用を積極的に行っています。今後は電力量削減に向け、デマンド解析の仕組みを構築し、効率の良い生産体制を目指します。

3. 環境関連データ

ゼオンポリミクス(株)大津事業所		2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	5	5	5	5	4
	使用量(トン)	165	146	122	113	125
	排出量(トン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	171	155	148	160	184
	埋立処分量(トン)	4.0	0.0	0	0.0	0.0
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量(千 m ³)		45	50	49	48	48
CO ₂ 排出量(トン)		1,938	2,631	2,740	2,860	3,159
エネルギー使用量(原油換算、kL)		1,573	1,534	1,416	1,388	1,495

品質保証の取り組み

【方針】

工程異常、クレームの削減(目標:前年比 30%減)

【具体的な取り組み】

安定した生産に工夫を要する品番に対して、個別対策を行い、安定生産に向けた改善活動を行っています。

社員とともに

【方針】

安定・安全な生産を確立するため、操業員の力量向上を図るとともに、マザー工場として世界に通用するリーダーの育成とグループ企業への支援強化を行っています。

【具体的な取り組み】

- ・設備トラブルや技術起因の工程異常を無くし、安定・安全な生産を確立するためサポート部隊の強化を図ると共に、現場力の向上を目指し、「保全マン」育成など、従業員教育を計画的に実施しています。
- ・「海外支援室」を中心に、海外 CM 関連会社への技術支援を通じ、技術者の育成にも取り組んでいます。

地域との共生

【方針】

地域の環境保全・社会発展に貢献し、共生を図る。

【具体的な取り組み】

1. 避難所運営訓練への参加

田上学区で開催された避難所運営訓練に 6 名が参加しました。今回の訓練内容を参考にし、災害発生時の体制強化と周知・教育に活かしていきます。

2. 琵琶湖の生態系を守る活動に参加

「琵琶湖を戻す会」主催の外来魚駆除大会に従業員と家族あわせて 38 名が参加しました。地域における環境改善活動の一環として、今後も継続して参加していきます。



避難所運営訓練



外来魚駆除